



# 京都ハンナリーズ



## ■満田選手の特徴を教えてください

僕の特徴はディフェンス力と走力だと思っています。幼少期からリレーでアンカーを任せられるくらい身体能力には自信があったので、それを活かしたプレーと切り替えの早さが自分の武器だと思います。同じ中学校出身の田臥選手（現宇都宮ブレイクス）が小さい頃から憧れていましたが、テクニックが僕にはないので…（苦笑い）。今季からキャプテンになったので、チームが下向きにならないようにプラス思考で声掛けするようにしています。

## ■B.LEAGUEの魅力はどこだと思いますか？

バスケットボールを知らない人でも音楽や演出などで楽しめるのは魅力だと思います。コートの上空に大きなビジョンがあり、選手名やルール、選手のアップ映像などが映し出されるので、2F席でも楽しめやすいと感じます。また、1F席だとコートと本当に近いので、迫を感じながら一緒になって盛り上げられるのも良いところだと思います。また、京都ハンナリーズは熱いブースター（バスケットボールのファンの総称）が多く、得点時の盛り上がりなども魅力です。

## ■一言

京都ハンナリーズの名前を知っているけれど観たことが無い・バスケットを知らない方もまだ多いと感じています。アリーナも市街地から近いですし、ぜひ一度観戦に来て頂いて、皆さんと一緒に盛り上がりを体感したいです！こういう状況ですが、思わず声を出したくなるような雰囲気があると思うので、非日常の高ぶる気持ちを一緒に味わってほしいなと思います。バスケットLIVEなどコロナ禍で来られない人も楽しめる配信サービスもあるので、京都ハンナリーズだけでなくB.LEAGUEを楽しんでください！

## ■京都ハンナリーズとは

プロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE」所属のプロバスケットボールクラブ。ホームアリーナは京都市体育館（西京極総合運動公園内）。チームカラーは浅葱色。マスコットは猫のはんニヤリン。

## ■直近の試合日程

チケットはB.LEAGUE チケットにて販売中。

3月23日（水）vs 琉球ゴールデンキングス

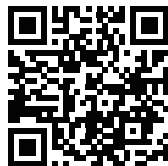
4月6日（水）vs 信州ブレイブウォリアーズ

4月9日（土）vs 琉球ゴールデンキングス

4月10日（日）vs 琉球ゴールデンキングス

4月13日（水）vs 千葉ジェッツ

会場：京都市体育館



©KyotoHannaryz



# 満田丈太郎 #21



京都ハンナリーズ  
チームキャラクター  
【はんニヤリン】

## ■プロフィール

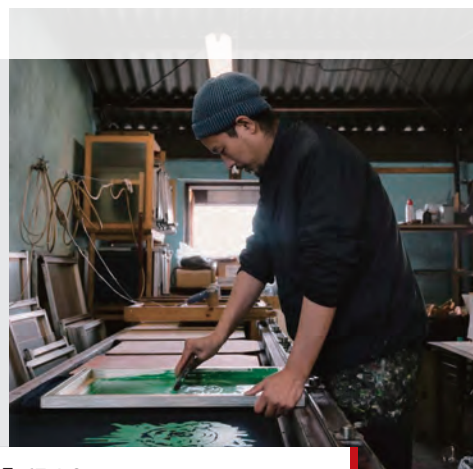
- ・氏名：満田 丈太郎
- ・出身校：筑波大学
- ・出身地：神奈川県
- ・生年月日：1994年4月18日
- ・身長：188cm
- ・趣味：キャンプ

## 異端児として突き抜けた結果、 フロッキー技術でパリコレへ



### 株式会社ティーヘッド

代表取締役社長 吉田 貴志さん



所在地 / 〒615-8062 京都府京都市西京区下津林前泓町67-1-2  
2006年ティーヘッド創業 <https://beanxious.com>

#### —他には無い技術と強みで京都から“パリコレ”へ

阪急桂駅から車で5分。京都市西京区の住宅街に株式会社ティーヘッドはある。織物や染め物の街京都において「beanxious」ピーアンキシャスの名で”直植毛フロッキー加工”を武器に成長を遂げてきた新進気鋭のアパレル工房だ。

フロッキー加工とは、細かい繊維を静電気で立たせた状態で糊に植え込むことによって生地が付着させ立体的にデザインする加工のことで、戦後に日本に入ってきた技術だが京都でも数件ほどしかなく、世界的にも加工できる人の少ない技術という。

2006年にこの会社を立ち上げた吉田さんは、着物の染師の家に生まれ、染色の学校を卒業後、サラリーマンを経たのちフロッキー加工の技術者に出会い、弟子入り。数年間修業したのちに独立し、「長毛のフロッキー加工は世界でも類を見ない」と語る唯一無二の技法を生み出し、これまでにないアパレル製品を世に出してきた。

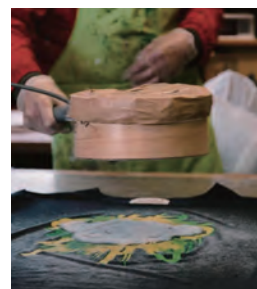
ただ当初は苦労もあった。伝統を重んじる京都において、これまでにない新しいフロッキー加工を良しとしない人もおり、「材料が仕入れられないなど、いやがらせもありました」と苦笑いで語る。しかし、デザインから製作まで一貫



して自社で行い、着心地まで考えられた商品は、徐々に評価されるようになり、今では有名ブランドのヨウジヤマモトをはじめ様々な世界的企業が注目し、パリコレにも採用されるほど信頼を得ている。

#### —京都ハンナリーズとの出会い

そんな吉田さんはアウェーにまで足を運ぶ京都ハンナリーズのプースター（バスケットボールでのファンの呼称）でもある。きっかけは子供が選手と手を繋いで入場するエスコートキッズに愛息が選ばれたことだったという。



「熱気溢れる会場で大きな選手達と手をつなぎ、緊張しながら嬉しそうに入場してくる子供達にとっても感動しました」数年前に外国籍選手のヒゲをフロッキーしたTシャツをプレゼントしたところ、とても喜ばれて選手からも作成の依頼が来たりと交流の幅を広げている。また現在ではパートナーとして協賛もしており、フロッキー加工を活かしたTシャツやトートバッグなどグッズの作成も行ってきた。

チームマスコットのはんニャリンはモフモフの愛らしい毛質が人気の商品だ。

「頑張っている選手たちやそのご家族に喜んで欲しい一心です」会場でも多くのプースターがフロッキー加工グッズを身に着けて会場を華やかに盛り上げている。

京都ハンナリーズと同じく老舗の多いこの街ではまだ歴史としては浅いが、お互いにこれからも新しい価値や文化を創造していこう。5月にはブランド初の直営店が西京区・松尾にオープンする予定で、今後の展開も楽しみなところだ。これからも長い歴史と伝統を持つ京都の地から、他には無い”個性”で革新的なものを世界へ発信していく。

お届けしたのは…